

令和2年6月11日(木)

福井高専学寮『青武寮』全寮生（新1年生を含む）の皆さんへ

【学寮第10報】「感染症対策に最大限対応した学寮環境構築についてのお知らせとお願い」

寮務主事

標記の件で、全寮生（新入生を含む）にお知らせとお願い（以下1.～3.）をします。その内容について保護者のかたとよく相談して下さい。また、今後も本校HPで学寮の情報を更新、提供しますので確認をお願いします。

1. 開寮（8月下旬を予定）以後、寮生に求められる「三密を避けた新しい生活様式」の内容について

以前お知らせしたように、本校では開寮（8月下旬を予定）に向けて現在、感染症対策に最大限対応した学寮環境構築に取り組んでいます。本校方針のもと、政府、国立高専機構本部、地元自治体や保健所のご指導及び、他高専特に学寮の対応などを見極めつつ、慎重に学寮の具体的な対応策を決定していきます。

現在のところ、少なくとも以下の主要点については、感染症対策のためやむを得ず寮生の皆さんにお願いをすることになると予想されます。共同生活におけるお互いの健康のため、寮生の皆さんの協力を切にお願いします。

- ①全寮生の居室を個室化します。限られたスペースのため、一部は複数人用居室も個室として使用します。
- ②食事、入浴、点呼等をグループ別に分散実施することで「密集」を出来る限り防ぎます。
- ③朝の起床時、昼休み等で居室や共用スペース（補食室や図書室他）等の換気を寮生全員で実施します。宿日直担当教員が巡回等でも環境整備の指導を実施します。これにより「密閉」状態を出来る限り防ぎます。
- ④寮生会との相談の上、区としての少数活動単位を重視することにより、「密接」状態を出来る限り防ぎます。
- ⑤他の居室や棟間の不急不要の往来、図書室の長時間使用はできません。「ゾーンニング（行動範囲の把握）」。
- ⑥消毒液の設置場所を増やすことで、「衛生」について常に意識し、自主的に行動してもらいます。
- ⑦朝夜の検温や寮内におけるマスクの常時着用、手洗いの一層の励行を求めます。自主的な「健康管理」徹底。
- ⑧体調不良（特に発熱や咳症状）時は、宿日直担当教員と保護者へ携帯電話で直ちに連絡してもらいます。体調不良の寮生対応として、学寮より地元病院への相談等、出来る限りの支援を行ないますが、医療従事者でないため限界があります。原則、保護者の監督下で速やかに帰省となります。「緊急時対応」の明確化。

2. 現段階で退寮して、自宅通学を希望する寮生への連絡

本年度は、授業開始時間の繰り下げ（10時開始）及び4、5年生退寮希望寮生対象の自動車通学申請受付（学生駐車場の数に限りはあります）を予定しています。今後の寮生活の変化や諸情勢を考慮し、現段階で退寮して、自宅通学を希望する場合、必ず保護者の了解を得た上で、学寮事務室に速やかに（6月末まで）連絡して下さい。

3. 在宅状況や在寮継続確認のため電話による懇談（寮生及び保護者対象）を実施

今後（出来る限り6月27日実施の保護者会以前）、皆さんの在宅状況や学寮継続確認のため電話懇談を、各学科の主事補の先生を中心に行ないます。その際、上記2も含めた寮生活全般について必要に応じ相談して下さい。

遠隔授業等の様々な対応で、依然として大変な日々だと思います。くれぐれも健康に気を付けて下さい。

令和2年度学寮担当（寮務主事団）教職員

M: 田中先生 E: 丸山先生 EI: 川上先生 C: 川村先生 B: 大和先生 一般: 門屋先生

学寮事務室: 塚崎さん、池田さん 寮務主事: 原口